

50年で導き出した“おしぼり進化論”、 次なる時代に向けて新市場を開拓



ユニフォームフォルダー

事業名

ボトルネック工程の自動化で生産性向上を実現し 市場シェア拡大へ環境を整える



事業先駆者としての 高い信頼

1970年(昭和45年)、業界に先がけてレンタルおしぼり事業を始めた当社は、2020年(令和元年)に創業50周年を迎えました。

主軸のレンタルおしぼり事業は当社売上の60%を占め、栃木県内をはじめ北関東・南東北エリアのレンタルおしぼりシェア率は80%以上まで拡大しました。しかし、バブル崩壊を境に紙おしぼりへの切り替えが増えるなど、おしぼり業界全体の市場規模は縮小傾向にあります。

当社の顧客は飲食店や宿泊施設が中心で、近年はおしぼりに止まらず、タオルやマットのレンタル、消耗備品の販売も手がけるようになりました。最近ではお

しぼりの洗濯技術に対する信頼性から、ユニフォームの洗濯依頼が増えています。

そこで5年前に「ユニフォームレンタル事業」に新規参入し、グループ会社の就

労継続支援A型施設の利用者と工場内の社員で対応してきましたが、ニーズの高まりとともに作業が間に合わなくなるケースが出てきました。既存の機械で洗



ハンガー搬送システム

濯・乾燥までは対応できますが、ユニフォームを畳む工程は手作業のため、作業時間と作業枚数の問題が改善できていません。施設と工場間の配送時間もネック工程の一つでした。

また、最近のユニフォームは館内着、作務衣、コックコート、作業つなぎなど形状が多岐にわたり、畳む人の作業スキルによって時間や仕上がりに差が出ます。畳み直さなければならないものもあるなど、時間・品質ともに生産性が低いことが課題でした。

ユニフォームを畳む作業を自動化

ニーズが高まるユニフォームレンタル事業の生産性向上と多種類への対応を主目的に、本事業において「ユニフォームフォルダー（ハンガー搬送システムを含む）」を導入しました。衣類を自動検知し、自動で畳むことができる最新のシステムです。

これまでの手作業では1時間あたり60着が限界でしたが、自動化されたことで500着まで増え、生産性が飛躍的に向上しました。また、10数名で行っていた作業が3名で対応可能となり、人材配置



衣類が畳まれる瞬間

の省力化が図れました。多様化する衣類の仕上がりも標準化され、安定した品質を確保できるようになりました。

事業領域の拡大と安心・安全の提供

当社のユニフォームレンタル事業は現在、2,000着／月程度で市場シェアの1%にも達していません。お客様のニーズの高まりから、今後は数十倍まで拡大できる、伸びしろのある事業だと思っています。



畳まれた衣類が自動的に出てくる

1時間あたり500着という作業能力と、あらゆる形状の衣類に対応できる機械のスペックは、お客様ニーズへの対応、サービス品質の向上につながることから、本事業で導入したユニフォームフォルダーを存分に活用し、事業領域の拡大に努めていきたいと考えています。

また、コロナ禍においては、消費者の衛生に対する関心が高まっています。当社は今年(2020年)から、「オーリス加工」と呼ばれる抗菌・防臭に抗ウイルス機能(99.99%以上抑制)を追加した布おしぼりのレンタルを始めましたが、今後はユニフォームレンタル事業にもオーリス加工を導入し、お客様にさらなる安心・安全を提供したいと考えています。



本事業における気づきと学び



株式会社 三協
代表取締役社長 添田 泰弘

今回、ものづくり補助事業を初めて活用しました。新規事業を始めるにあたり、設備投資を後押ししてくれるなど、中小企業にとってとてもありがたい事業だと思います。

本事業に取り組むにあたり、自社の強みや弱みをあぶり出したり、自社の経営状況を客観的に分析する中で、たくさんの学びや気づきがありました。この貴重な経験を、今後の経営に活かしていきたいと思っています。



株式会社
三協



〒329-1311
栃木県さくら市氏家1150-3
TEL : 028-682-2930
FAX : 028-682-2361
URL : <https://www.3kyo-os.co.jp>
E-mail : info@3kyo-os.com

【代表者名】 添田泰弘
【設立年】 1976年1月
【資本金額】 2,500万円
【従業員数】 200名
【事業内容】 おしぼり、タオル、ユニフォーム等のレンタル・販売事業